



総合防災訓練を実施します！

☎ 防災安全課 Tel.0299-90-1126

訓練当日は、避難情報などをお知らせしますので、最寄りの訓練会場へ原則徒歩で避難してください。この機会に災害時の避難行動を確認しましょう！

日時 **3月17日** 午前9時～11時

対象地域

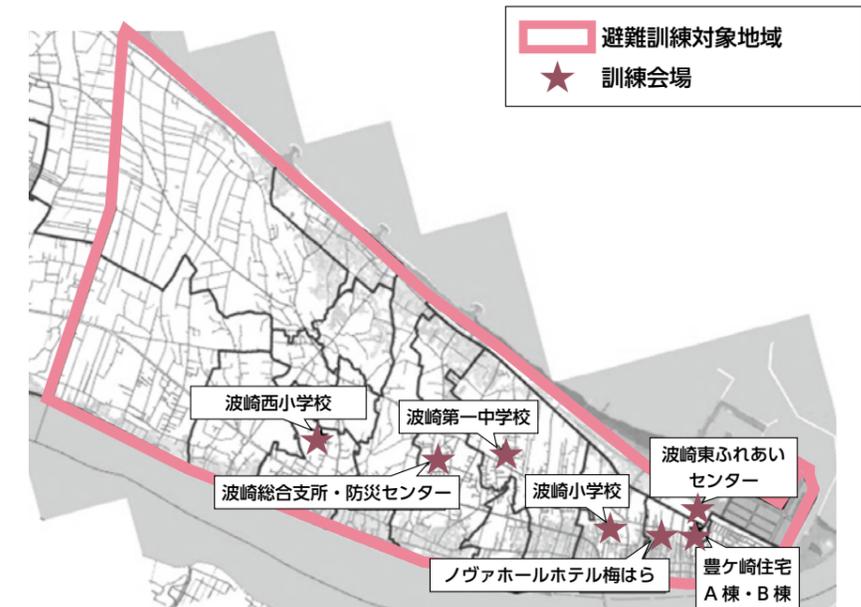
波崎第一中学校区

日の出町、豊ヶ崎、明神前、本新町、浜新田、海老台、本郷、高野、別所、荒波、石津、仲舎利、内出、松本、芝、舎利浜

訓練会場

波崎総合支所・防災センター (メイン会場)

波崎東ふれあいセンター、波崎小学校、波崎第一中学校、波崎西小学校、ノヴァホールホテル梅はら、豊ヶ崎住宅A棟・B棟



訓練想定

- 茨城県沖を震源とするマグニチュード9クラスの地震が発生。市では震度6強を観測。
- 大津波警報が発表されることを想定して、津波避難訓練を実施します
- なお、波崎総合支所・防災センターでは各種訓練を実施します

訓練の中止について

- 雨天の場合でも実施します。ただし、災害発生や市内に気象警報などが発表された場合には、状況により訓練を中止する場合があります
- 訓練の中止は、防災行政無線や防災ラジオ、市メールマガジンなどでお知らせします

訓練内容

内容	時間	場所
●シェイクアウト訓練 ●津波避難訓練 ●避難所開設・避難者受入訓練	午前9時～11時	全会場(共通)
●応急手当訓練 ●煙体験訓練 ●自衛隊資機材の展示 ●初期消火訓練 ●炊き出し訓練 ●応急給水訓練 ●防災啓発コーナー	午前9時～11時	メイン会場

※シェイクアウト訓練とは、地震から身を守るための安全行動を行なうものです
※訓練終了後、波崎総合支所・防災センターで終了式を行ないます
※訓練の内容は変更となる場合があります

防災講演会 みんなでつくろう 安心できる避難所

☎ 防災安全課 Tel.0299-90-1126

東日本大震災からもうすぐ13年を迎えます。市では当時、最大で約8,000人の住民が避難所での生活を余儀なくされました。誰にとっても安全・安心な避難所であるためには、みんなの協力が必要です。日頃からできることを考えていきましょう。

日時=3月9日(土) 午後1時～

会場=かみす防災アリーナ

定員=300人(先着順) ※空きがある場合は当日受付可



申込方法 電話または**いばらき電子申請・届出サービス**で申し込み

講師紹介



平田京子 氏(日本女子大学家政学部住居学科 教授)

1990年日本女子大学大学院を修了。博士(学術)。

専門は市民防災、住宅の安全性、リスクコミュニケーション、生活復興と住宅再建、避難所について現在研究中。

文京区空家等対策審議会座長として空き家問題に取り組むほか、文京区地域防災計画策定や神栖市大規模避難所の計画段階に参画。避難所の住民自治運営のための人材育成として「文京避難所大学」「神栖避難所大学」などを実施し、率先して動き出す支援者を育成中。

自転車に乗るときはヘルメットをかぶりましょう

☎ 防災安全課 Tel.0299-90-1131



2023年4月1日から、道路交通法の改正により、自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務になりました。市では、自転車に乗っている人が交通事故に遭遇した際の被害軽減を目的として、ヘルメットの購入費用の一部を補助しています。通学や日常生活などで自転車に乗るときは、頭部保護のためヘルメットを着用しましょう。

対象者=市内に住民登録している高校生相当の方(2005年4月2日～2008年4月1日生まれ)

対象の自転車乗車用ヘルメット

●2023年4月1日以降に購入したもの

●安全基準に適合した新品のもの

※安全認証マーク(SG・JCF・CE・GS・CPSCのいずれか)があるもの

●転売などの目的でなく対象者本人が使用するもの

購入先=自転車乗車用ヘルメット販売店、インターネット販売店

申請期限=3月29日(金)

※補助金予算額に達し次第受付終了となりますので、希望される方は早めに申請してください

※18歳未満の方は保護者が申請してください

必要書類

●補助金交付申請書(防災安全課窓口または市ホームページから入手可能)

●販売店などが発行した領収書の写し

●安全基準を証明する書類の写し(販売店の証明書、取扱説明書または現物の写真など)

補助率=ヘルメット1個につき、購入費用の2分の1(上限2,000円、100円未満切り捨て)

※対象者1人につき1個まで

申請窓口=防災安全課または市民生活課

